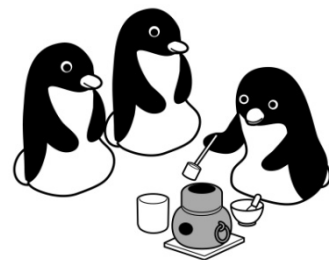


茶華道部通信



顧問 久保田 美冬

丑田 幸子

保護者の皆さまにおかれましては、茶華道部の部活動にご理解・ご協力くださり感謝いたしております。この通信をもちまして活動のご報告をさせていただきますと思います。

9月13日（土）爽やかな秋空の中、阪急伊丹駅近くの「旧石橋家住宅」で行われた、学校茶会に行ってきました。兵庫県の重要文化財に指定されている和室で行われ、ほとんどの生徒たちにとっては本格的な茶室でお茶をいただくのが初めての経験だったと思います。伊丹の高校の茶道部によるお点前を頂戴させていただき、その所作ひとつひとつが勉強になりました。

きっと「いつか私もこんなに格的なお点前ができるようになりたい!」と思ったはず??



縁側には、秋の七草が飾られていました。種類を聞くと、答えられる子が思った以上に多くてびっくりしました。

秋の虫、キリギリス・ツクワムシも、涼しげな虫かごに飾られていました。

秋の季節を感じさせてくれる、亭主のおもてなしの気遣いを感じます。



お月見の正式なお供え方だそうです。右側に団子、左側には山芋が供えられています。初物の芋を供える風習があったようです。

席入り前。ちょっと緊張しています。外観も素敵なお屋敷です。



順番が来て、席入りをしました。市立伊丹高校茶道部である亭主からの挨拶を受け、お点前を頂戴いたしました。



「一期一会」この茶会のひとときを、一生に一度と思い、大切にお客様をおもてなしするという、茶道の基本的な精神です。茶道は単に、お作法を学ぶだけではありません。日常生活、ひいては人生そのものを美しく豊かにする感性を学んでいきます。

○保護者のみなさまへ○

お手前を行う時には、帛紗（ふくさ）と言われる道具が必要です。また、本格的なお茶会に席入りする場合、帛紗ばさみ、扇子、懐紙、楊枝が必要になります。

保護者の皆様にできるだけご負担をかけないようにと思いますが、お稽古のためにこれらの道具を揃えさせていただきたいと思います。具体的な金額等はのちほどご説明させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。